

【字幕センター スキルアップ支援事業】

令和6年 1月 20日

サービス管理責任者 小野寺 弘美

## (職員支援内容 記録)

議題：利用者の字幕制作についてレポート作成と利用者を見る支援体制の強化サポート

題材：今の全体的な現状把握・作業への従事経過期間と実績・  
仕事を果たしたことでの生活面の変化は？

参加者：齋藤菜摘・千坂淑子・日下芽生

記録者：齋藤菜摘

## ①仕事の現状

全員校閲作業をメインに行っている。

必要があればカテ1変換や台本起こしも行う。

適した作品の発注がある場合は本制作を依頼することもある。

その他 週2回の清掃業務、当番制にさまざまな業務を任せている。

## ②実績

※ 校閲という制度をつくり、ここ3年程度は発注された全ての作品を校閲している。

一番長く勤めている利用者さんには週2本程度本制作を任せていた。

一番新しく入った利用者さん以外は全員本制作を行ったことがある。

## ③仕事を果たした生活面での変化

休まず出社できるよう体調管理に気を配り

規則正しい生活を心がけているようすがうかがえる。

社会人として、さまざまな人と関わりを持つことにより

人間関係で悩んだりすることもあるようす。

収入を得ることで生活の質が向上した人もいる。

利用者

氏名 佐藤 [redacted] R6年 11月 10日

本人記載欄

職員記載欄

①仕事の現状

校閲が入っている日は校閲作業をしない日は制作練習をしています。  
 校閲では前よりはミスを見つけるようになってきたが、まだ発声の違いや文字抜けなど見落としてしまうので見落としがないように取り組みたいです。  
 制作練習では修正の際に分かるないところがあったら、あやふやにせず、しっかり聞いて自分の身になるよう制作練習をしたい。

校閲作業とカテ1変換作業を  
 並に置キ作業している  
 作業時間は平均値でこなしている。  
 本人も認識があるが、文字抜けや発声違いに気が付けない事があるが、自学で改善に向け努力しているのはうかがえる。  
 →制作練習

②実績

(最近では体調を崩すことなく希望で出している休みの日以外は出勤しています。)  
 おさるのジョージの本制作をやらせて頂いたことがあります。  
 台本変換をやらせて頂いたことがあります。  
 実習生や新しく入った方にやり方を教えたことがあります。

制作時には、基本的な事柄のミスがあり修正の多い作品であった。  
 校閲作業は不明点の質問を積極的に行って努力しているのはみられる。新しい方に説明するのはこいねりに伝えられている。利用者さんに

③仕事を得ての生活面での変化

休みの日でも仕事に影響しないように体調には気を付けて生活しています。

体調不良での欠勤力が無いのは、休日の過ごし方に気を付けて生活している成果の現れかと思える。